

教育ジャーナリスト

青木 悦さん 待望の新刊本 完成間近！

小説『黙婆（もくば）』

放射線量がまだ高いと思われる真っ白な雪の中に、真っ赤な毛布にくるまれた赤ん坊が、そっと置かれていた……
震災から2年、春まだ浅い福島市郊外のある家から物語は始まっていきます。

赤ん坊を発見したのは老いにさしかかったこの家の住人夫婦。
この家には震災を乗り越えた80代の婆ちゃんと、ずっと引きこもっていた25歳の孫も住んでいました。

赤ん坊のくるくるとした瞳、その目に映る青い空と白い雲……
黙り通してきた婆ちゃんと孫たちは、その美しさに目を奪われます。
それは原発の爆発の後、ずっと無彩色だった自分たちの世界に、初めて入ってきた生命の色彩だと思えたのです。

この子の身元を探して……その旅の中で様々な人との出会いがあり、震災後の福島が抱えた悲しみ、苦しみ、そして戦後のこの国のありよう。こんな世の中、これから私はどう生きるのか、それぞれが問われ、考えていかざるを得なくなります……。

【予定販売価格】本体 2,000 円+税

2023 年秋
刊行予定

予約注文受付中！

青木 悦(あおき えつ)

教育ジャーナリスト。福島市在住。
子どもの虐待、いじめ、不登校等についての執筆活動・講演活動を展開。著書『子どものために』という前に『泣いていいんだよ』『やさしく生きたい—私を育ててくれた戦後教育と四万十川』ほか。

子ども情報研究センター刊『はらっぱ』にて、「子どものまわりを歩きつづけて いま思うこと」(2003.4~2007.3)「考えたこと-2011.3.11から」(2012.5~2014.3)連載。

小説だからこそ書けることがある…青木悦さん渾身の1冊

※この書籍は予約販売となります。お名前、ご住所、電話番号、購入冊数をお知らせください。

名前		電話	
住所	〒		
冊数	冊		

【問合せ・申込み】 公益社団法人子ども情報研究センター

TEL 06-4708-7087 / FAX 06-4394-8501 / Email info@kojoken.jp